

課題整理総括表

利用者名 A様

作成日

R 8/ 2/ 25

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①脳梗塞再発により右半身中等度の麻痺			②血圧は時々測るのみ			③水分摂取量600~800ml		
		④内服薬は忘れることがある			⑤煮物、刺身が好き(塩分制限が不)			⑥夫はリウマチで介護に不安がある		
状況の事実 ※1		現在 ※2			要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)	
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助 全介助	①	改善	維持	悪化	・寝返り・起き上がり・端座位は見守り又は支えが必要 ・リハビリで右短下肢装具と歩行器により見守り歩行 ・玄関前の段差や玄関の上がり框は一部介助で可能だが不安定、ソファからの立ち上がりはつかまれば出来る ・自宅内の移動は周囲につかまりながら可能。見守りあり ・浴槽またぎは困難、立ち上がりも困難、更衣介助必要	
	屋外移動	自立	見守り	一部介助 全介助	①	改善	維持	悪化		
食事	食事内容	支障なし 支障あり			③⑤	改善	維持	悪化	・食事摂取は左手でできるが、利き手は右手、時々ムセあり ・主食は全粥、副食は一口大、水分はとろみを薄くつける ・失禁を気にして水分を取らない傾向があり、促し必要 ・尿意はあるが、まれに間に合わず失禁あり、便秘傾向で下剤を屯用で内服	
	食事摂取	自立	見守り	一部介助 全介助	①	改善	維持	悪化		
	調理	自立	見守り	一部介助 全介助	①	改善	維持	悪化		
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	・日中は車いすですぐトイレへ誘導、介助あり、夜間はポータブルトイレで対応	
	排泄動作	自立	見守り	一部介助 全介助	①	改善	維持	悪化		
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり				改善	維持	悪化	・ズボンの上げ下げに介助あり ・自歯、麻痺側に食物残渣あり声掛け確認必要 ・洗面は椅子座位で自力で可能 ・軽度難聴あるが、日常会話ではほぼ支障はない ・前日のことを忘れていたり、家族に同じことを繰り返し話すことがある ・会話内容の行き違いがある ・内服を忘れる事があり、都度手渡し内服確認が必要 ・入院前は金銭・通帳管理を本人が行っていたが、入院中は夫が行なっている。	
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助 全介助		改善	維持	悪化		
服薬		自立	見守り	一部介助 全介助	①④	改善	維持	悪化	・入院中、少額は手持ちあるが使わない ・入院前、買い物は夫や娘たちと出掛けていた。 ・入院前は、調理・洗濯・掃除は本	
入浴		自立	見守り	一部介助 全介助	①⑥	改善	維持	悪化		
更衣		自立	見守り	一部介助 全介助	①⑥	改善	維持	悪化		
掃除		自立	見守り	一部介助 全介助	①⑥	改善	維持	悪化		
洗濯		自立	見守り	一部介助 全介助	①⑥	改善	維持	悪化		
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助 全介助	①⑥	改善	維持	悪化		
金銭管理		自立	見守り	一部介助 全介助	④	改善	維持	悪化		
買物		自立	見守り	一部介助 全介助	①	改善	維持	悪化		
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			①	改善	維持	悪化		
認知		支障なし 支障あり			①	改善	維持	悪化		
社会との関わり		支障なし 支障あり			①	改善	維持	悪化		
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり				改善	維持	悪化		
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり				改善	維持	悪化		
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			⑥	改善	維持	悪化		
居住環境		支障なし 支障あり			①	改善	維持	悪化		
						改善	維持	悪化		

利用者及び家族の生活に対する意向	家事をしながら、家族と外出できるようになりたい。
------------------	--------------------------

見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善・維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「一」印を記入。